



医療法人弘遠会 すずかけグループ

天竜すずかけ病院

広報誌

すずちゃん通信

第5号 秋号

発行日

2018年10月1日

2018年10月1日より 「介護医療院」を開院いたします



目次

Page 1 表紙

Page 2 副院長よりご挨拶
外来より

Page 3

10月1日より天竜
すずかけ病院が変わります！
病院祭のお知らせ

Page 4

外来診療医担当医表
インフォメーション
秋号の一句
編集後記

ご挨拶 副院長より

「毎年思うこと。そして、今思うこと。」

例年、8月15日になると、身がひきしまる思いがします。
この日は、終戦記念日。73年前の昭和20年のこの日、日本の戦争は終わりました。
しかし、この戦争を生き抜いた人たちは、そこですべてが終わったわけではなく、戦後の大混乱の中を、日々の生活を続けなければなりませんでした。
その後、日本は敗戦から立ち直り、大発展を遂げ、平和な日々を過ごすことができるようになりましたが、今の日本があるのは、あの時、がむしゃらに生きぬいた多くの人がいたからこそなのだと、毎年8月15日になると、その感謝の思いを胸に刻んでいます。
当時、若者だった人たちは、70余年の年月を経て、今、80歳・90歳代となっています。日本人の平均寿命は、現在、女性が87歳、男性が81歳です。
この類まれなる世代の人たちは、もう、人生の終盤にさしかかってきています。これらの人生の大先輩の方々には、最期は、ぜひ静かで幸せな人生でしめくくってほしいと切に思います。
天竜すずかけ病院は、そのために必要な医療・看護・介護を提供いたします。そして、そこに携わることによって、この方々の幸せな人生に向けて応援できることを誇りに思っています。



吉原仁宣
(よしはら よしのり)

平成27年4月より
天竜すずかけ病院
副院長

外来より

昨年の冬も全国的にインフルエンザが猛威をふるい、例年よりやや早い11月下旬に流行り始め累計患者数は過去最多になりました。今年もインフルエンザ流行の季節が近づき注意が必要です。インフルエンザと風邪の違い、インフルエンザの予防法をまとめてみました。

～インフルエンザとは？～

インフルエンザとは、インフルエンザウイルスA,B,C型を病原とする感染症で、普通の風邪とは違います。インフルエンザは、咳やくしゃみなどの飛沫によって、散布されたウイルスによって伝染します。また強い感染力を持っています。

	インフルエンザ	風邪
発症	急激	緩徐
初期症状	寒気、頭痛	くしゃみ、鼻水、鼻づまり等
主症状	発熱、全身の痛み	鼻水、鼻づまり
発熱	38℃～40℃	37℃～37.5℃
全身筋肉痛	ある	ない
全身関節痛	ある	ない

～インフルエンザの予防法～

インフルエンザにかからないために下記のことが大切です。

1. ワクチンの接種
(ワクチン接種は、インフルエンザの重症化を防ぐ働きを持っています。)
2. 十分な栄養と休養をとる
3. 人混みを避ける
4. 室内の乾燥に気をつける
(ウイルスは、低温、低湿を好み乾燥しているとウイルスが長時間空気中を漂います。加湿器などで室内の適度な湿度を保ちましょう)
5. マスクの着用
6. 手洗いとうがいの励行



天竜すずかけ病院、外来にて今年も11月からインフルエンザワクチンの接種を行う予定です。
ご希望の方は、事前の予約をお願い致します。

10月1日より天竜すずかけ病院が変わります！

「介護医療院」(平成30年10月開設)のご案内

介護施設・ご自宅の生活は難しく、医療処置が必要で、介護保険(介護度1～5)の認定を受けている方が対象です。

提供内容は以下となります

- ・医療機能と生活機能を兼ね備えた新しい施設
- ・医療と介護のサービスを受けながら、生活の場として安心して暮らせる施設
- ・在宅医療と連携して病態に応じた自立支援の提供



5階病棟が担当いたします

「地域包括ケア病床」のご案内

入院対象となる方は、

- ・急性期治療を終え、病状が安定した患者様・
すぐに在宅や施設へ退院するには不安のある患者様
- ・地域にお住まいの在宅療養中の方が、比較的軽い
症状ながら入院治療が必要となった場合等

回復期リハビリテーション病棟内に地域包括ケア病床を設置して診療所からの入院紹介や緊急入院に対応できる体制をとり、地域の皆様が安心して生活できるようサポートしていきます。



4階病棟が担当いたします

イベント

11/11(日) すずちゃんまつり(病院祭) が開催されます！

日 時 : 平成30年11月11日(日) 10:00～14:00

場 所 : 天竜すずかけ病院 1階

入場料 : 無料 (飲食等は有料) 事前申込等は不要です

実施内容につきましては、当院ホームページや当院掲示板にて順次公開の予定です。



昨年の様子です



年に1度の病院祭です。今年で第3回目を迎え秋の開催です。
毎年好評の「清竜中学校 吹奏楽部 演奏会」「特別講演会」
「血圧・骨密度測定」「健康体操」「フードコーナー」等に加え、
初の試みとして「認知症カフェ」も行います。
当日は職員一同でお待ちしております。
みなさま お誘い合わせの上、ぜひお越しください。

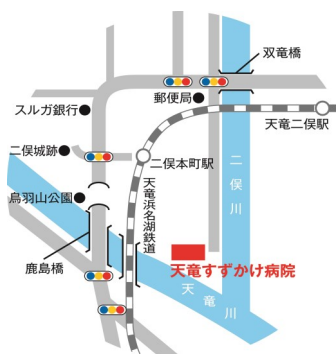
医療法人弘遠会 すずかけグループ
天竜すずかけ病院

〒431-3314
浜松市天竜区二俣町二俣
2396-56

電話：053 (925) 8111(代)
FAX：053 (925) 8112

電子メール
tenryu@suzukake.or.jp

ホームページ
<http://suzukake.or.jp/tenryu/>



外来診療医担当医表

総合診療科

	月	火	水	木	金
医師名	竹村兼成	竹下 力	鈴木芳太郎	(1.3.5週) 田中 弦 (2.4週) 西川方夫	大橋亮洋
診療時間	9:00-12:00	9:00-12:00	9:00-12:00	9:00-12:00 14:00-16:00 (午後(2.4週のみ))	9:00-12:00
コメント	内科全般	漢方の相談	創傷処置	(1.3.5週) 消化器外科 (2.4週) もの忘れ外来 〔予約制〕	整形外科
担当医の専門	総合内科	総合内科	外科	消化器外科 脳神経外科	整形外科

「受付時間 8:30-11:30、診療時間 9:00-12:00」となります

「祝日、GW、年末年始」はお休みとなります

インフォメーション

地域住民講演会のご案内

入場無料・事前申込不要

11/ 8(木) pm1:30～ 春野協働センター〔春野地区〕

『認知症と共に生きる ― 自分が受ける最期の医療を考える時間を持ってみませんか ― 』

講師：小澤医院 医師 小澤 靖 氏

11/30(金) pm1:30～ 光明ふれあいセンター〔山東地区〕

『よりよく自分らしく生きるとは？』

― 自分が受ける最期の医療を考える時間を持ってみませんか ― 』

講師：光明山光明寺 住職 甘蔗孝仁 氏

12/ 6(木) pm1:30～ 二俣協働センター〔二俣地区〕

『よりよく自分らしく生きるとは？』

― 自分が受ける最期の医療を考える時間を持ってみませんか ― 』

講師：東谷山栄林寺 住職 櫻井孝順 氏

お問い合わせは 高齢者相談センター天竜 (TEL 053-925-0034) まで



秋号の一句 <通所リハビリ利用者様の作品>

- ・足伸ばし 彼岸花咲く 所まで
- ・彼は散る 長月の夜 月あかく
- ・届きたる 挙式の知らせ 赤とんぼ
- ・萩の花 こぼれて狭き 石畳

編集後記

今年度4月より病棟再編を計画実行してまいりました。半年間という短い期間でしたが無事、介護医療院、地域包括ケア病床の開設が整いました。今後も地域の皆様へのニーズに対応すべく変革していきます。また、11月11日には『すずちゃん祭り』があります。いろいろなイベントで楽しんでいただき、病院の魅力を知っていただく機会になると思います。皆さんでお誘いあわせの上、来院していただけることを職員一同心待ちにしています。(僚)